

国際ロータリー第2610地区 「2025-26年度 地区研修・協議会」



マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

(ブラジル サンパウロ)



- 印刷業界のビジネス・コンサルタント
- 弁護士
- Santo Andoreロータリークラブ
(23歳の時入会)
- ブラジル4人目のRI会長
- ロータリー財団特別功労賞受賞
- デニース夫人とともにメジャードナー
- ロータリー財団ベネファクター







2025-26年度 RI会長 メッセージ 「よいことのために 手を取りあおう」 UNITE FOR GOOD





ロータリーの最大の財産は会員
「会員維持増強のための不可欠な3つの柱」

1. 革新

2. 継続性

3. パートナーシップ



ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画」です。この行動計画の四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人びとを結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

より大きな
インパクト
をもたらす

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- インパクトをもたらし、それを測る能力を高める

参加者の
基盤を
広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- 参加者がロータリーを体験する新しい方法を創り出す
- クラブの柔軟性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する理解を築く

参加者の積極的な
かかわりを
促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 個々の参加者をよりよく理解し、サポートする
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する

適応力を
高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な考え方を育む

国際ロータリー第2610地区 2025-26年 地区運営基本方針

1. 地区テーマ

『みんなで参加しよう みんなで行動しよう』

2. 基本方針

『2610地区 全会員の積極的・継続的な参加を促す(みんなで)』

3. 3年間の地区目標

『だれもが笑顔でいごこちの良いクラブ』

4. 地区・クラブの向かう方向＝行動計画(4つの優先項目)



行動計画推進に向けて当面3年間の目標を立てましょう

- (1) 会員維持増強と帰属意識 革新 すべての活動にDEIの意識
- (2) 継続事業（財団補助金の利活用）
- (3) 計画的なクラブリーダーの育成
- (4) クラブの強みを伸ばす 弱みを改善する
- (5) 地域の存在価値を高める新事業への挑戦
- (6) クラブ運営面の見直し
- (7) 能登半島地震・豪雨災害復興への計画的な支援活動

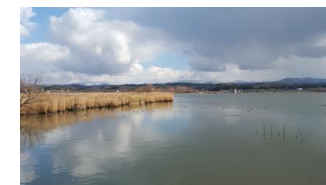
運営組織をクラブ内に位置づけていきましょう

1) 行動計画推進・危機管理委員会設立

4つの優先事項に沿って3年間の具体的な数値目標を立てる
地区13委員会が3年間の具体的な数値目標をたてて取り組む

2) クラブ行動計画推進リーダーを選任する

3年間の行動計画を推進する運営組織を立ち上げる
クラブ3年間の具体的な目標を立て入力する



クラブ3年間の目標推進手順例

ロータリー行動計画(4つの優先事項)に基づいて
「だれもが笑顔でいごちの良いクラブ」を実現するために

- (1) クラブ行動計画推進リーダーを確認しましょう(選任済)
- (2) クラブ行動計画運営組織を決めましょう(委員会など)
- (3) 3年間の目標入力と管理はクラブセントラルで行います → **クラブ目標サポートサイトへ入力**
- (4) 6つの優先事項は必ず入力しましょう → **重要7項目**
- (5) まず、クラブの現状をみんなで確認しましょう ◎クラブの強み・弱みなど ジャパンポータルサイト参考に
- (6) クラブ3年間の目標を決め、具体的な3年間の計画を立てましょう ◎地区の目標・地区委員会の目標を参考に
- (7) 2025年5月17日(土)にクラブ行動計画推進リーダー会議を開催する予定
- (8) **クラブ目標サポートミーティング開催予定**
 - ① 3ヵ月に1度程度開催予定(毎回5日ごろ)
 - ② クラブ会長(クラブ幹事・推進リーダーなど)と目標に対する進捗状況を情報交換・共有する予定

2610地区能登半島地震・豪雨災害復興支援計画

1. 目的

- (1)被災クラブの支援
- (2)被災会員の支援
- (3)被災地の支援

2. 具体的な支援策

(1)被災クラブの支援(対象:石川第3・第4グループ 氷見RC 氷見中央RC)

①支援金の支給(被災クラブに対してクラブ活性化支援金支給)

石川第3・氷見・氷見中央 1人当たり100,000円×クラブ会員

石川第4・富来 1人当たり120,000円×クラブ会員

②RI人頭分担金の免除申請(継続)

③クラブに寄り添った支援策(退会防止のための対応策)

④支援プロジェクトの実施(地区補助金・グローバル補助金・災害救援補助金他)

2610地区能登半島地震・豪雨災害復興支援計画

2. 具体的な支援策

(2) 被災会員の支援(対象:支援が必要な被災会員全員)

- ①地区人頭賦課金について協議→**納入再開**
- ②地区会合の登録費の減免協議
- ③メンタルヘルスケアなど個々の会員に寄り添った支援策

2610地区能登半島地震・豪雨災害復興支援計画

2. 具体的な支援策

(3) 被災地の支援

①「希望の翼」奨学金事業の推進

(被災高校生の大学進学を応援) 120名(89名)・80名・60名」

②被災地大学生への支援事業 30名(13名)

③補助金を活用した復興プロジェクトの支援 6件

2025年2月～2026年6月総額8,000万円

④県社会福祉協議会との協定による災害ボランティア活動への協力

⑤輪島市・珠洲市・能登町・穴水町に支援金贈呈(大橋年度)

皆さん
一緒にロータリーを楽しみましょう

「クラブのいごこちを大切に」



皆さんの参加と行動が
いごこちの良いクラブづくりにつながります



「**チーム** 英ちゃん」





ロータリークラブ

2610地区 63クラブ 2,502名(2025年2月)

(小矢部みらい衛星クラブ 12名)

ローターアクトクラブ 6クラブ 61名

